

2018年4月12日

各 位

国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）
館長 嵐谷 安雄

ビッグ・アイ アートプロジェクト作品募集事業の廃止について

春陽の候 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）のビッグ・アイ アートプロジェクト作品募集事業に応募いただくなど格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お蔭をもちまして、この事業は回を重ねること7回に及び、ビッグ・アイの名物事業としてすっかり定着してまいりましたが、それとは逆に、国からの予算は年々削減の一途をたどり、向後この事業を続けることが極めて厳しくなりました。国連障害者の十年記念施設が誇るその理念に基づくメイン事業の廃止をお知らせしなければならなくなったことは、誠に残念であります。

折しも、公益財団法人日本財団におかれましては、幸いにもビッグ・アイ アートプロジェクト作品募集事業に類する事業（DIVERSITY IN THE ARTS）を新たに開始される運びとなっております。そして同財団から、ノウハウの蓄積を有するビッグ・アイに対して、協力を求める旨の申し入れがありました。ビッグ・アイではやむなく廃止せざるを得なくなった事業ではありますが、精神が日本財団に受け継がれ、新たに同財団のDIVERSITY IN THE ARTSとして継続・発展していくことは、誠に喜ばしい限りであります。ビッグ・アイとしては、ビジュアルアートの創作を通じて多様性の意義と価値を広く社会に発信するという事業趣旨は、実施主体がどこであれ変わらぬものと信じ、この際日本財団の事業に協力していくことといたしました。皆さまのこの間におけるご支援・ご協力に重ねて感謝申し上げますとともに、この後もビッグ・アイに対しまして、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

時節柄、折角ご自愛とさらなるご発展を祈念申し上げます。取り急ぎ、事業廃止のお詫び方々御礼申し上げます。